

佐久市文化財保護審議会会議次第

平成 23 年 7 月 6 日 (水)
午前 10 時～
野沢会館 203 会議室

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 会長あいさつ

4 協議事項

(1) 臼田トンネル産古型マンモス化石について

(2) 前回からの継続案件について

- ① 岩村田祇園の神輿
- ② 岩村田蔦石のトウグミ

(3) 報告事項

- ① 「岩村田ヒカリゴケ産地」について
- ② 旧中込学校の改修について
- ③ 標柱・案内板の改修について
- ④ 前山城跡内の歩道整備について
- ⑤ 五郎兵衛用水の遺構箇所の改修について
- ⑥ 旧大沢小学校の屋根修理について

(4) その他

- ① 文化財パトロールについて
- ② 八幡神社について
- ③ 志賀村役場について

5 閉会

臼田トンネル産古型マンモス化石

1 発見の経緯

平成20年11月27日、中部横断自動車道（仮称）臼田トンネル工事現場において掘削土置き場から化石と思われる破片が発見され、長野県教育委員会と野尻湖ナウマンゾウ博物館近藤学芸員によりゾウの化石であることが確認された。その後、佐久市教育委員会によって化石が含まれる可能性のある掘削土の表面採集調査を行い、切歯片を中心とした化石が採集された。

2 調査の経過

発見されたゾウ化石の産出層準及び化石の同定研究のため、佐久市教育委員会文化財課を事務局として、平成20年12月14日、「臼田トンネルゾウ化石調査会」が組織され、佐久市教育委員会より調査を委託した。

3 発見地点

化石が発見された場所は、中部横断自動車道臼田トンネル 北側の入口から205mから215mの地点であり、地籍は佐久市中小田切字駱馬出口、北緯36° 10' 20"、東経138° 28' 23"である。

4 化石の概要

発見された化石は以下の部位である。

(1) 左上顎第3大臼歯 (Usuda-01)

ほぼ完全な保存のよい標本であり、長さ254mm、幅86mmを計測する。

(2) 左下顎第3大臼歯 (Usuda-02～05)

4つの破片が発見されている。直接には接合しないが、すべて同一の左下顎第3大臼歯の破片であると考えられ、Usuda-02と03は連続するものである。長さは79mm・88mm・52mm・10mm、幅は78mm・79mm・49mm・41mmを計測する。

(3) 切歯片 (牙)

主なもの10点 (Usuda-06～15) のほか、小片が多数発見されている。

Usuda-06～15の現存する最大長は172mm～67mm、最大径は110mm～24mmを計測する。

5 発見の意義

(1) 古型マンモスの化石は日本では26箇所が発見されているが、千葉県房総半島、新潟県、滋賀県や大阪・四国・九州などからである。長野県の山間地からは初めての発見であり、従来の分布域の空白を埋めるものである。また、ほぼ同一個体と考えられる状況で上顎臼歯と下顎臼歯及び切歯が発見されたのは全国で初めてである。

(2) 古型マンモスは120万年前頃に中国大陸から移入してきたと考えられており、日本での生息年代は120万～70万年前であるとされている。臼田標本は産出した礫層から、化石の年代はおおよそ100万年前であると考えられることが明らかとなり、日本列島でどのような進化過程をたどっていったのかを解明するうえで貴重な資料である。

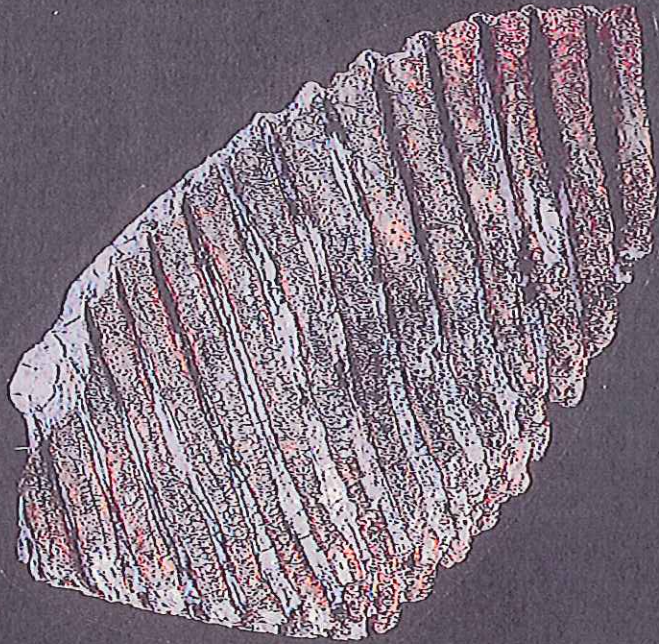
(3) 現在まで日本で発見されている古型マンモスの化石はほとんどが下顎臼歯であり、上顎臼歯はわずかである。これまで日本列島で発見された古型マンモスの化石では、同一個体に属する上顎臼歯・下顎臼歯・切歯がまとまって産出した例はなく、日本における古型マンモスの形態的特徴を知るうえで貴重な資料である。

(4) 化石の包含層である礫層を分析した結果、八ヶ岳火山を源流とした河川に堆積したものであると推定されている。今まで日本列島において古型マンモスが発見された場所は山麓地域の例は少なく、近くでは新潟県と千葉県の房総半島で発見されていることから、今回の発見はこの2つの地域を結ぶルートとして古型マンモスの移動を考えるうえで貴重な資料である。

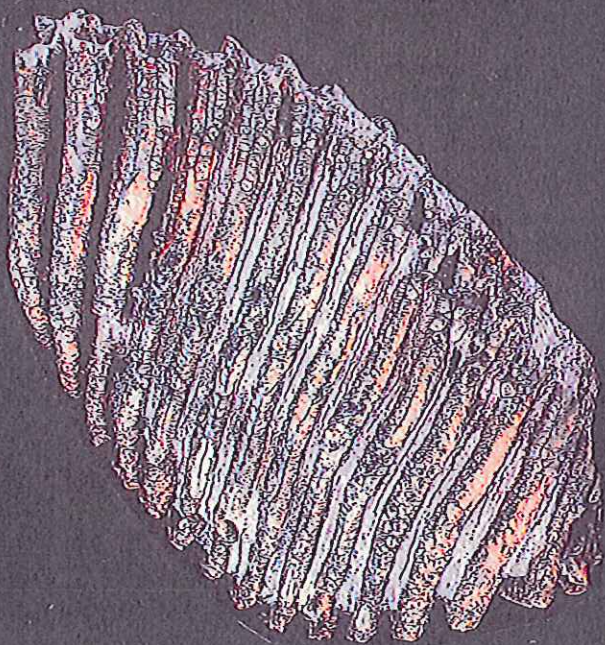
臼歯・切歯化石の計測値

臼 歯	Usuda-01	Usuda-02	Usuda-03	Usuda-04	Usuda-05
歯 種	左上顎第3大臼歯	左下顎第3大臼歯	左下顎第3大臼歯	左下顎第3大臼歯	左下顎第3大臼歯
咬板数	15	5	5?	3	1
歯冠長	254+	79+	88+	52+	10+
歯冠高	170(9)	94+(3)	128(3)	72+	99
歯冠幅	86(3)	78(3)	79(3)	49+	41+
切 歯	Usuda-06	Usuda-07	Usuda-08	Usuda-09	Usuda-10
最大長	172+	102+	93+	134+	84+
最大径	110	93	85	42	59
切 歯	Usuda-11	Usuda-12	Usuda-13	Usuda-14	Usuda-15
最大長	96+	68+	67+	78+	115+
最大径	32	24	27	28	55

※ 単位はmm、+は破損による欠如を示す。
 ※ 歯冠高、歯冠幅の()は計測した咬板を表す。



1 左上顎第3大臼齒 (Usuda-01) 頰側面

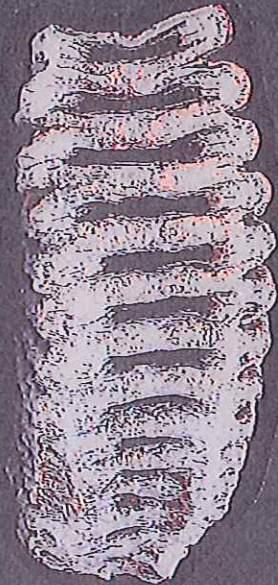


2 左上顎第3大臼齒 (Usuda-01) 舌側面

10cm

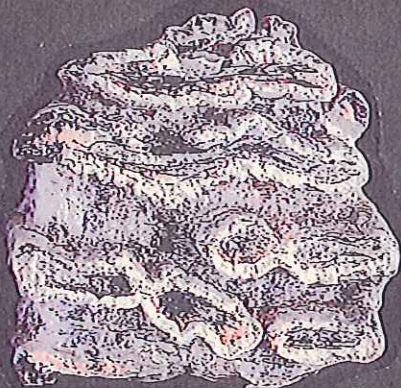


1 左上顎第3大白齒
(Usuda-01) 咬合面

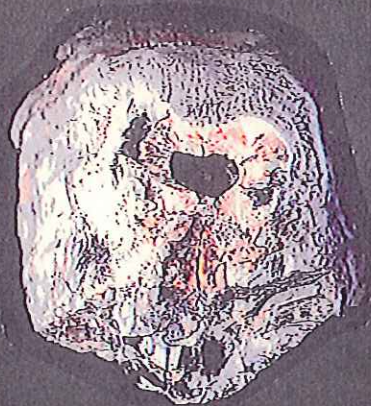


2 左上顎第3大白齒
(Usuda-01) 齒根側面

10cm

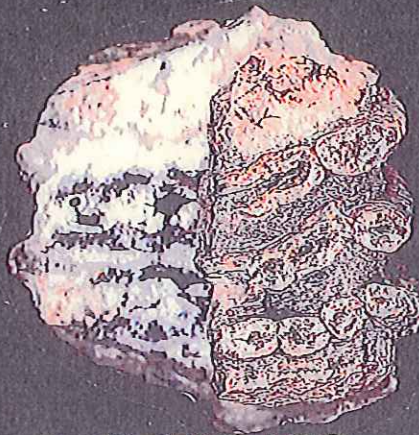


3 左下顎第3大白齒
(Usuda-02) 咬合面

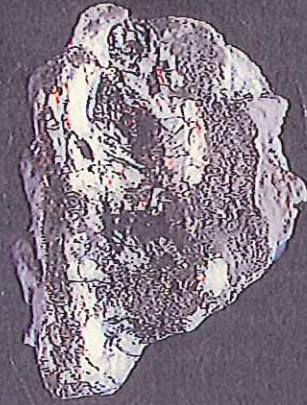


4 左下顎第3大白齒
(Usuda-02) 齒根側面

10cm



1 左下顎第3大臼齒
(Usuda-03) 咬合面



2 左下顎第3大臼齒
(Usuda-03) 齒根側面

10cm



3 左下顎第3大臼齒
(Usuda-04) 咬合面



4 左下顎第3大臼齒
(Usuda-04) 齒根側面

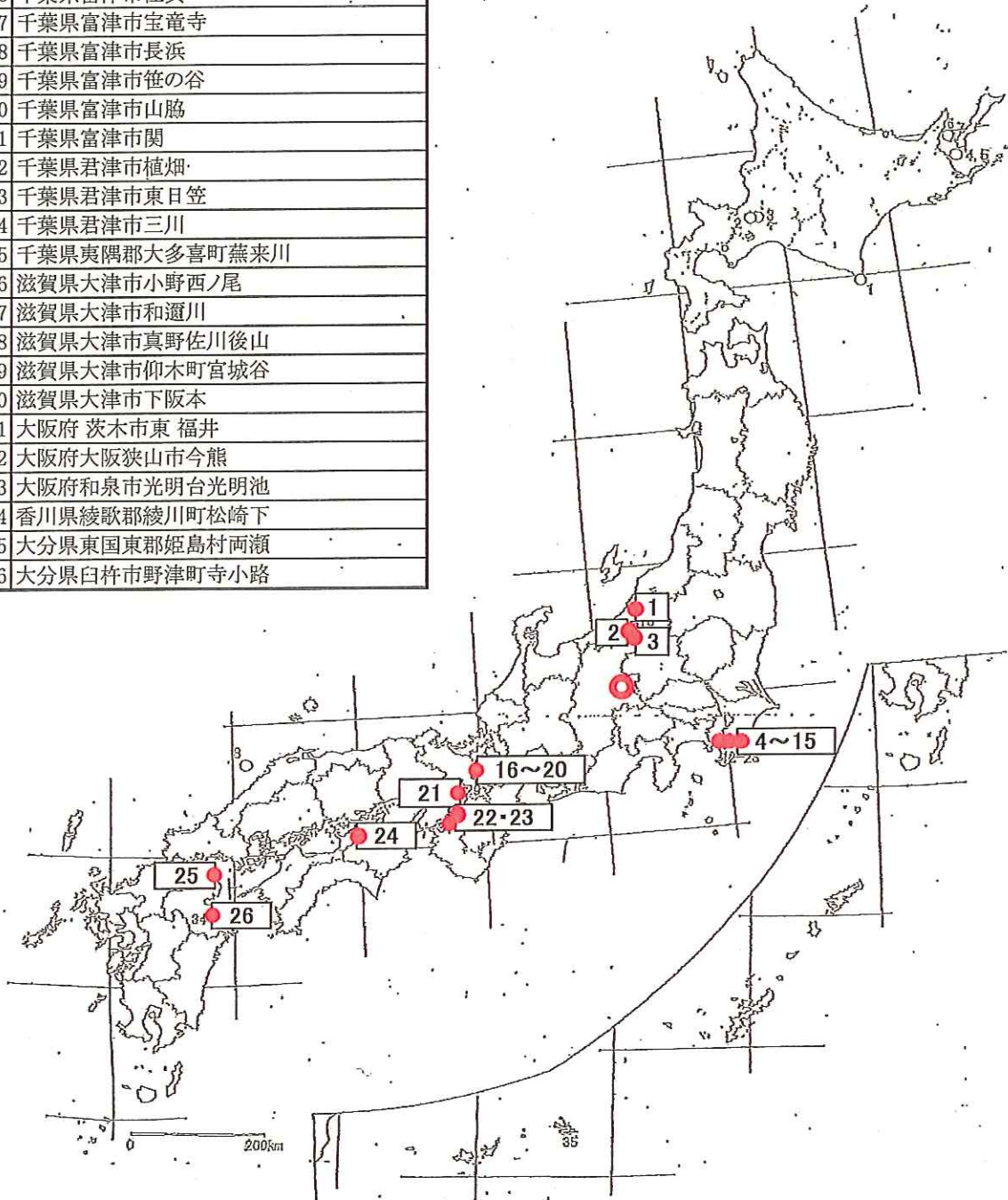


5 左下顎第3大臼齒 (Usuda-05)

10cm

日本における古型マンモス化石の産地

No.	産地名
1	新潟県長岡市塚野山門前
2	新潟県河西町橋四十歩(現在の十日町市)
3	新潟県中魚沼郡津南町見玉
4	千葉県富津市磯根
5	千葉県富津市千種新田
6	千葉県富津市佐貫
7	千葉県富津市宝竜寺
8	千葉県富津市長浜
9	千葉県富津市笹の谷
10	千葉県富津市山脇
11	千葉県富津市関
12	千葉県君津市植畑
13	千葉県君津市東日笠
14	千葉県君津市三川
15	千葉県夷隅郡大多喜町燕来川
16	滋賀県大津市小野西ノ尾
17	滋賀県大津市和邇川
18	滋賀県大津市真野佐川後山
19	滋賀県大津市仰木町宮城谷
20	滋賀県大津市下阪本
21	大阪府茨木市東福井
22	大阪府大阪狭山市今熊
23	大阪府和泉市光明台光明池
24	香川県綾歌郡綾川町松崎下
25	大分県東国東郡姫島村両瀬
26	大分県臼杵市野津町寺小路





修復されたみこしを見て喜ぶ佐久市岩村田の若者たち

佐久 祇園祭のみこし修復

岩村田の若者ら寄付募り

お披露目会「見た目 昔のまま」

来月の祭りで初担ぎ

佐久市岩村田の祇園祭で「暴れみこし」として使うみこしのお披露目会が26日、荒宿公会場であった。みこしは江戸時代に作られたとされ、手入れをしながら使ってきたが、老朽化が激しく、若者を中心に住民から募った寄付で修復した。7月16、17日の祇園祭で修復後、初めて担ぐ。

お披露目会には約120人が出席した。みこしは高さ約1・2メートルで、25人くらいで担ぐ大きさ。戦時中の祇園祭の写真も一緒に展示し、出席者から「見た目が昔のままでうれしい」との声が上がった。

祭りの際に左右に揺さぶられるみこしは内部が腐り、大きく動かすと屋根の部分が揺れる状態だった。担ぎ手の若者が4年前に「有祇天王社神

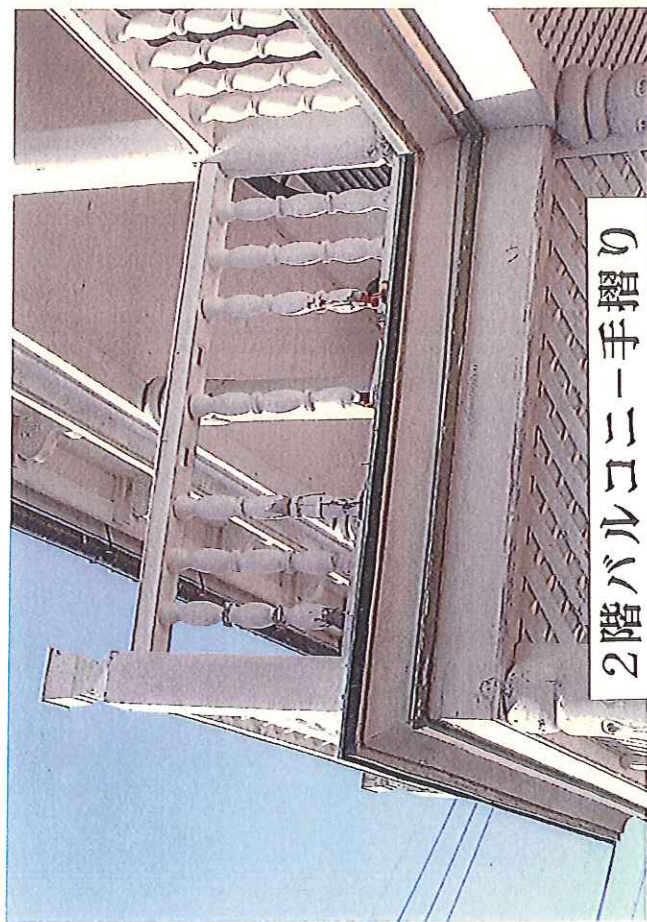
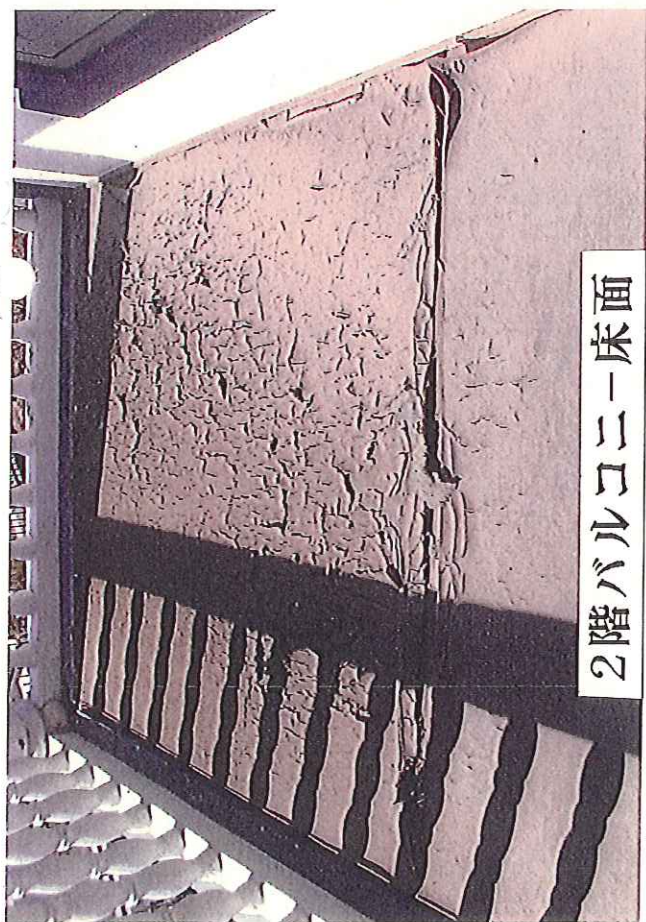
興会」を結成して修復に向けた活動を開始。寄付約600万円を集め、昨年10月に小諸市内の業者に修復を依頼した。

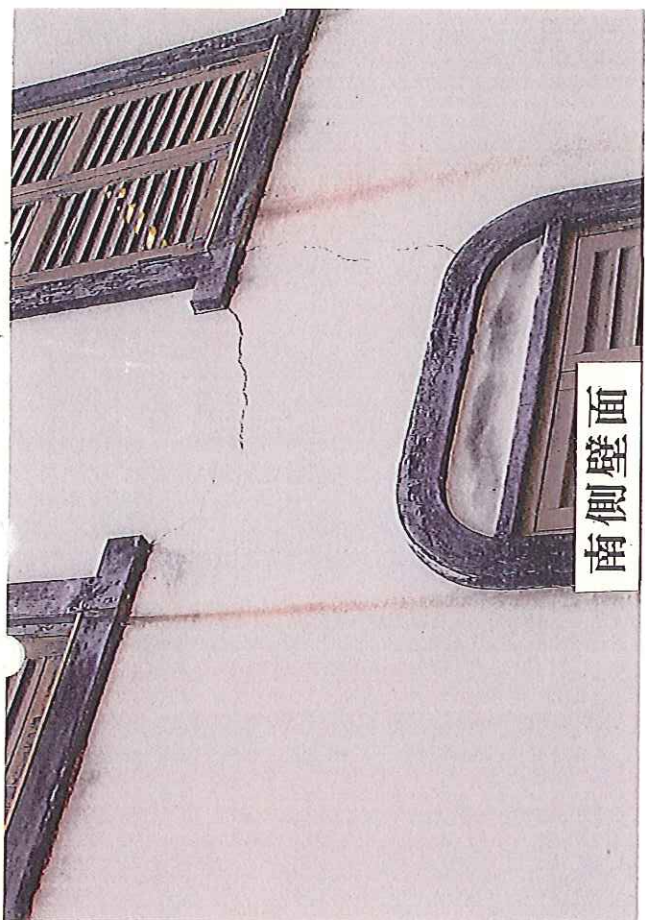
同会によると、みこしは1729（享保14）年、岩村田藩主が地域に贈った。昨年発足したみこしの保存会の事務局長、白井敏幸さん（34）岩村田は「何百年先までも現役でいてほしい」と願っている。



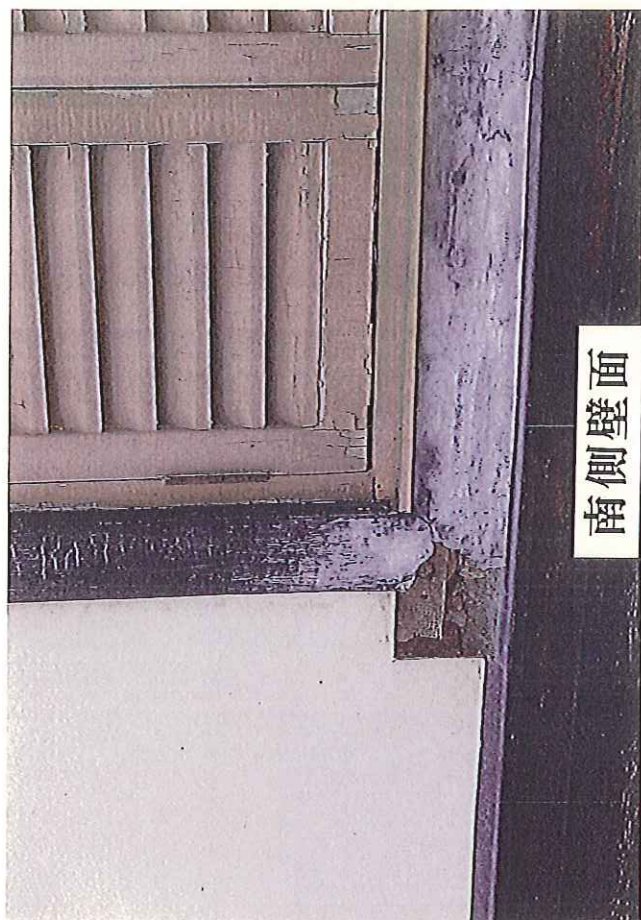


旧中込学校 写真

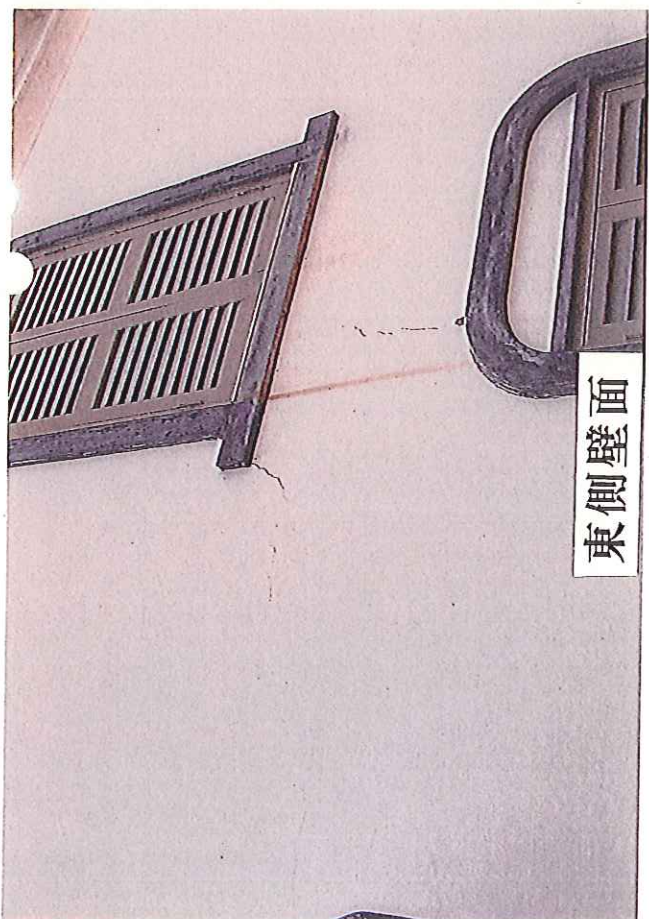




南側壁面



南側壁面



東側壁面



北側壁面

「舟つなぎ石」の標柱の破損の状況

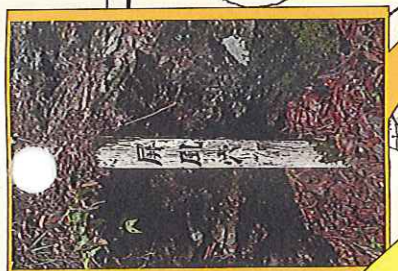
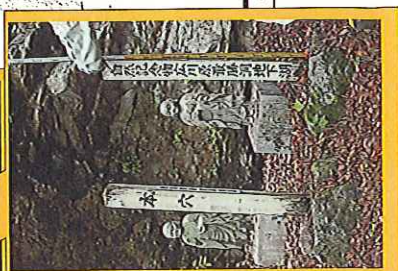
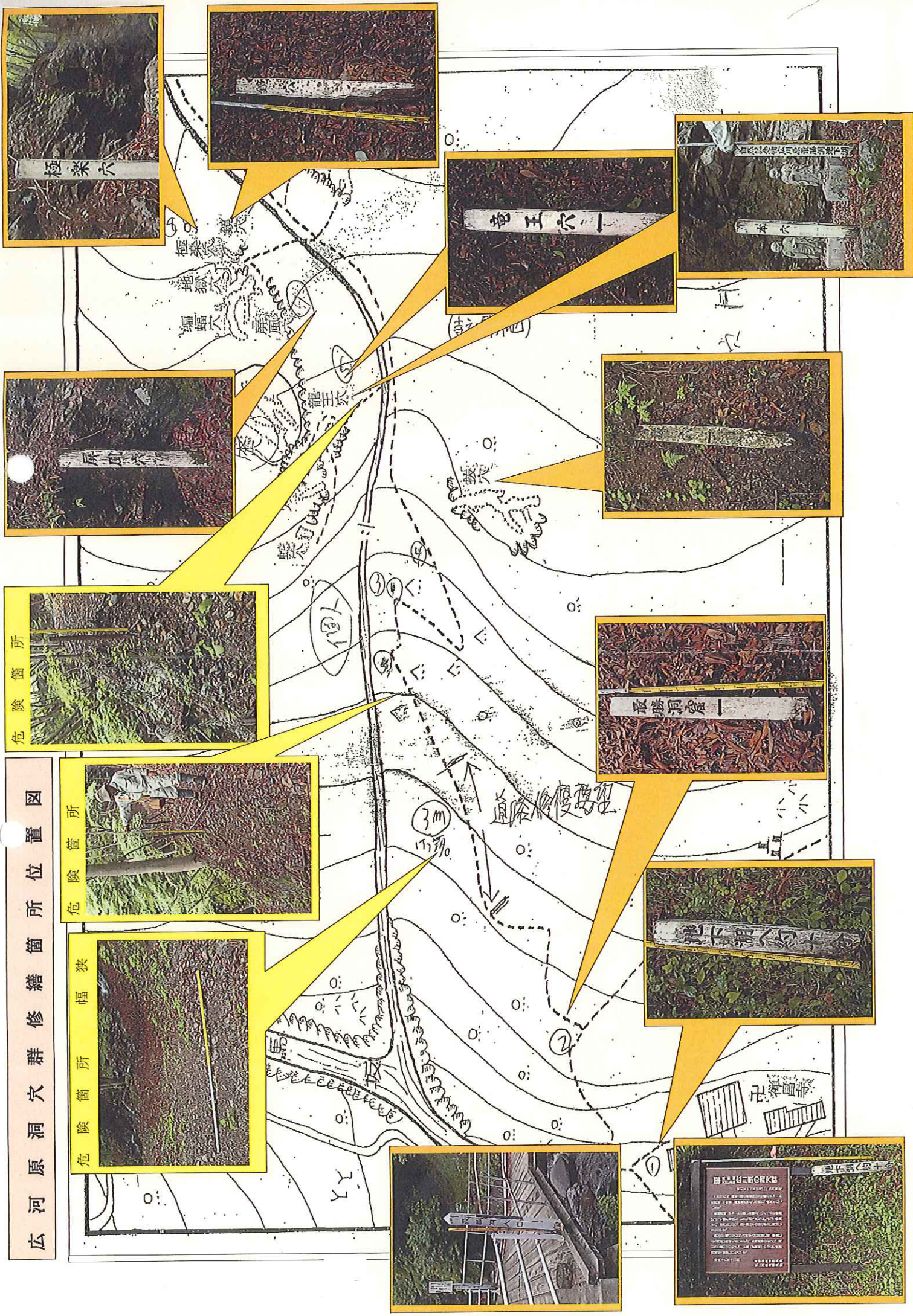
平成23年6月10日現在



仮設置の状況



廣河原洞穴群修繕箇所位置圖



前山城跡内の歩道整備について

■平成22年5月25日 佐久市区長総会

前山北中区長より「前山城址の保存について」区要望あり。
文化財課に係る要望事項として下記の2点が出される。

1. 登り降りする歩道の整備
2. 頂上付近の転落防止

■平成22年6月

前山城保存会より遊歩道について相談したい旨、電話あり。
現地でも話した方がわかりやすいので、日程を決めてもらい立会いすることとする。

■平成22年8月6日

前山北中区長、保存会長と現場立会い。

遊歩道に関する結論として、小宮山側からの登山道が傷んでいるので、地元で整備する。工法は部分的に板柵工を施工し、ウッドチップと腐葉土を混ぜたものを引きならす。(材料については文化財課で用意。)

■平成22年9月1日

文化財保護審議会にこれまでの、経過を報告。

■平成22年10月

平成23年度にて材料費を予算要求。

■平成23年3月23日

平成23年度第1回定例会において予算議決。

■平成23年6月19日

材料を発注。

五郎兵工用水流末



五郎兵工用水流末

